

(様式第6号)

集中管理公用車運用システム要件確認書

重要度: 必須…システムの提案上、必ず満たすべき要件

有用…本市が望む要件であるが、満たさない場合も可。満たす場合は評価対象。

証明 : ○…要件を満たす

: △…要件を一部満たす。別紙(様式無し)にて満たす内容及び代替案がある場合はそれを示すこと。(別紙がない場合は×と判断する)

: ×…満たさない

業務	要件(詳細)	重要度	証明	備考
予約	① 職員用情報系端末でのWEBブラウザ(仮想ブラウザ)及び職員個人のモバイル端末で利用可能であること。	必須		
	② 職員以外がアクセスできないようログイン用ID及びパスワードにより管理されていること。	必須		
	③ 利用者全員が操作しやすい簡易な画面構成で操作性が良いものであること。	必須		
	④ 登録された全ての車両が一覧表で表示でき、空き状況が視覚的に確認できること。	必須		
	⑤ 予約内容は他の利用者でも確認できること。(予約者を把握するため)	必須		
利用	⑥ 予約と連動して、暗証番号等を利用した鍵の受け渡しができること。また、暗証番号等は鍵に固定のものではなく、都度予約に対して変更されるものであること。	必須		
	⑦ 鍵の状態(貸出中、保管中など)がシステムもしくは鍵収納機器で確認できること。または、予約した車両の鍵が返却されていない場合、次の予約者へ通知できること。	必須		
	⑧ 鍵収納機器は鍵1本ごとに個別の収納箱(スペース)があること。	必須		
	⑨ システム上で、運転日誌(日報)の記載が可能であること。 (入力必須項目は仕様書記載)	必須		
	⑩ システム上で、運行前点検記録の記載が可能であること。 (入力必須項目は仕様書記載)	必須		
	⑪ システム上で、アルコールチェック(運転前後)の記載が可能であること。 (入力必須項目は仕様書記載)	必須		
	⑫ ⑨から⑪の入力のない利用者へは自動で通知ができること。	必須		
	⑬ システム上で、給油の必要性が把握できること。	必須		
管理	⑭ 公用車の車両情報が登録できること。 (入力必須項目は仕様書記載)	必須		
	⑮ 入力されたデータをExcel形式やCSV形式で出力できること。	必須		
	⑯ 運行記録から稼働状況調査ができること。	必須		
	⑰ 車両の利用を管理者権限で制御できること。(故障車などの予約を制限するため)	必須		
	⑱ 利用者の予約の削除、変更またはそれに類することが可能であること。	必須		
	⑲ 職員の異動や庁内組織再編にあたって、ID等の変更が容易に行えること。	必須		
	⑳ 日常的な鍵収納機器内の管理のため、管理者権限で開閉できる機能を有していること。	有用		
障害・セキュリティ対応	㉑ 無人でも管理可能な鍵収納機器とすること。	必須		
	㉒ 災害発生時や停電、システム障害時でも鍵収納機器の手動での開閉などの対応が可能であること。	必須		
	㉓ セキュリティ対策を講じた鍵収納機器であること。	必須		
	㉔ SSL/TLS暗号化通信を利用したものであること。	必須		
	㉕ アカウント管理やアクセス制限などの不正アクセス防止対策が実施できるものであること。	必須		
課題対応	㉖ 予約した車両を実際には使用しない、いわゆる空予約への対応ができること。	有用		
	㉗ 一部の車両を使用頻度の高い特定の部署へ優先的に使用させているが、当該部署が使用しない場合に、他部署が使用できること。	有用		